

企業短信

～ 新商品・人事ニュース・新設拠点・移転ほか ～

人工芝の取り扱いを開始

札内緑地(株) (中川郡幕別町、代表宗澤公氏) は、1965年創業で、芝生施工を主体に土木・土工工事を手がけ、芝張り工事は計画から設計、施工までトータルで対応し、豊富な実績を持つ。また、公園の維持管理や一般廃棄物収集、農業なども手がけ事業の多角化を積極的に進めており、今年4月からは人工芝の取り扱いを開始している。

人工芝は、今まで手間のかかった一戸建てにある庭先の植木や花畑、天然芝の代わりに、防草シートを敷き、その上から接着シートとピンで人工芝を敷設すると、本物の天然芝と見分けがつかないほど鮮やかな緑地に景観が一変する。

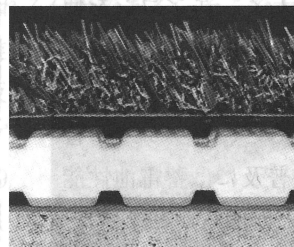
また、幼稚園、介護施設、公共施設などには転倒してもけがの少ない透水性アンダーマット「サブターフ」を敷き詰め、その上に透水性スポーツ人工芝「グレンターフ」を貼っている。材質は、ポリプロピレンフォーム100%で、クッション性に優れ、適度な堅さや弾力性があり、見た目、質感も天然芝に近い。ハードな使用が続いてもクッション性が損なわれず耐久性が高く、アンダーマットの凸凹とブロックの目のような溝が浸透した水を地面に流す仕組みとなっており透水性が高いのも特徴。

10年以上メンテナンスが不要で、手入れには掃除機が使える、維持管理に手間や費用がかからない。

価格は、1㎡、芝のみで4,000円から、施工料込みで10,000円から。

商品のラインナップは豊富で、ゴルフ練習用の芝丈8mm、12mm、競技場用の55mmのほか、遮熱パイルや防草シート付きなどもあり、用途に適したものを選択できる。

企業コード：030099434 **札内緑地(株)** (幕別町)



- ←透水性スポーツ人工芝「グレンターフ」
- ←専用接着剤(両面塗布)
- ←透水性アンダーマット「サブターフ」
- ←専用接着剤(両面塗布)
- ←コンクリート基礎

クオリティが高く、コストパフォーマンスを追求した人工芝は、これまで商業施設の屋上広場やフットサル場など様々な場所で使用されている。

地元同業者に先駆けて人工芝を導入し、顧客ニーズに対応しており、天然芝と人工芝のそれぞれの利点を知ってもらい、最適な芝を選んでもらいたいとしている。

札内緑地(株)

〒089-0536 中川郡幕別町札内西町91-7

TEL：0155-28-3737